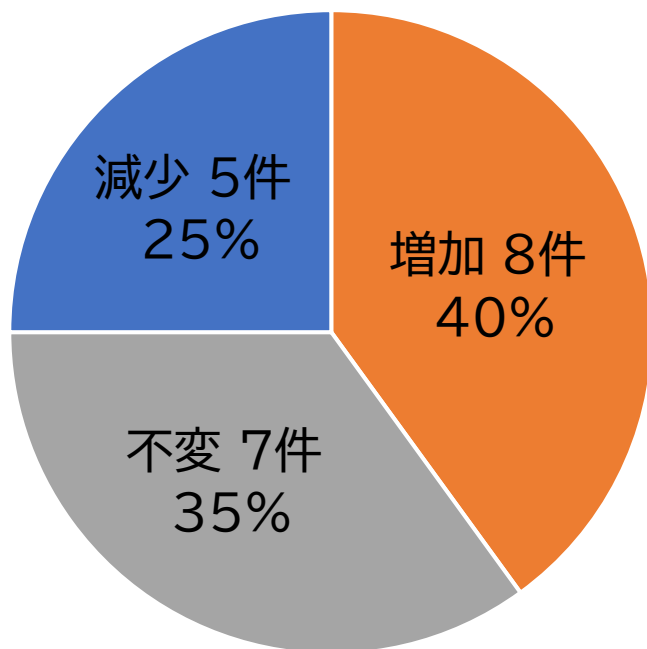


令和8年度景況調査

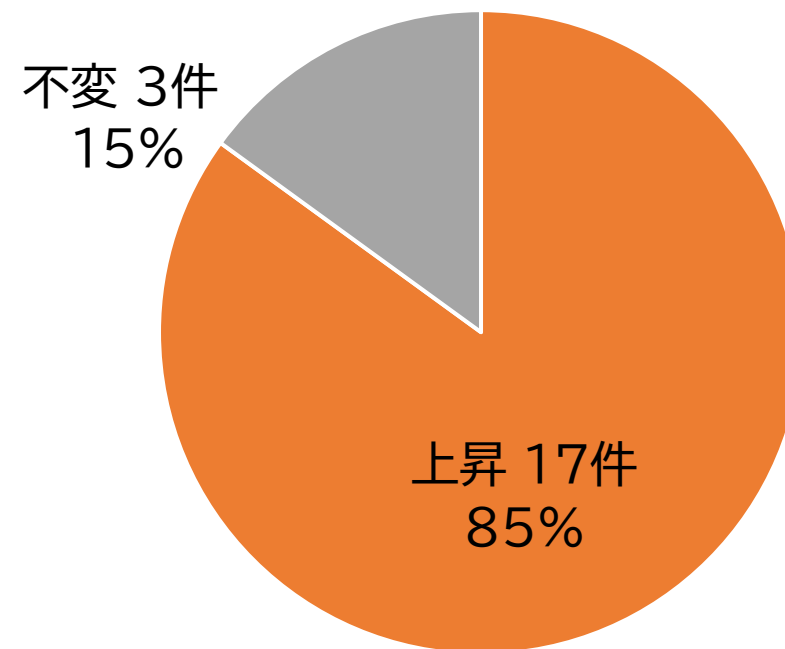
第一四半期(4月～6月)

# 調査結果①

売上高の状況(前年同期比)

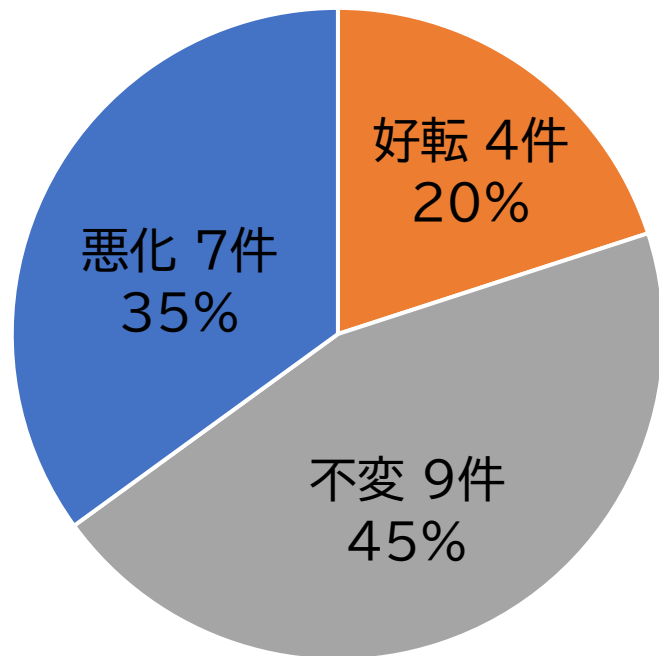


仕入高の状況(前年同期比)

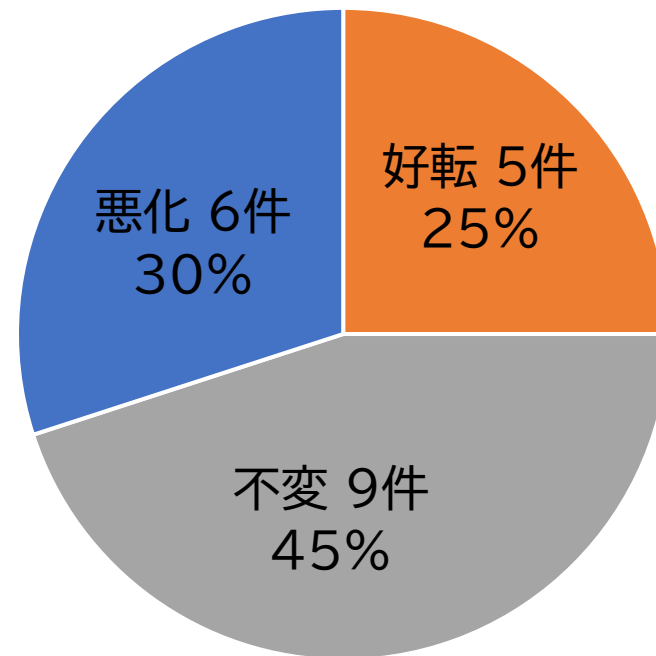


## 調査結果②

経常利益の状況(前年同期比)

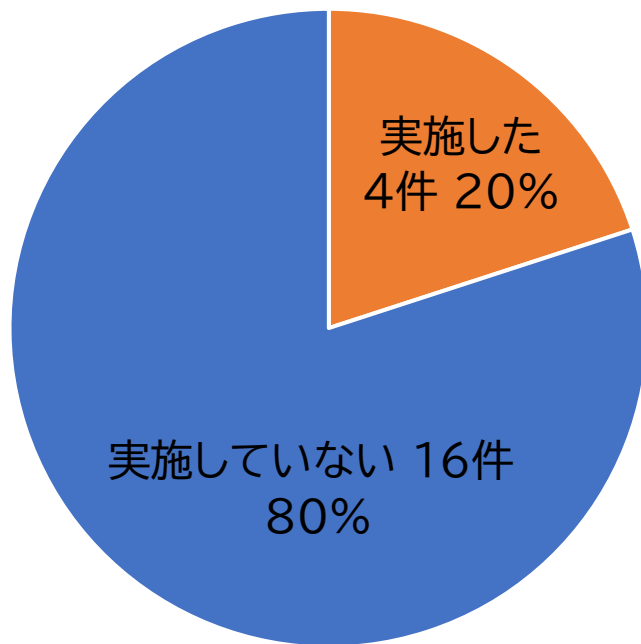


自社の業況(前年同期比)

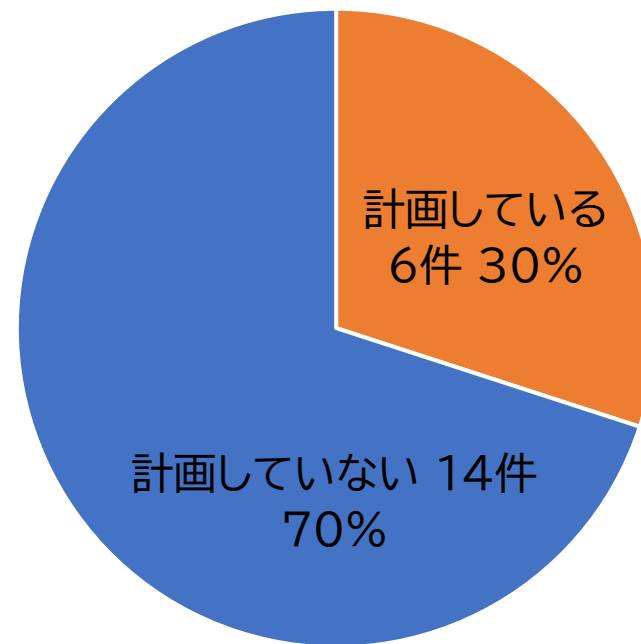


## 調査結果③

設備投資の実施(今期)



設備投資の実施(来期)



## ②分析結果

- 売上高は、調査対象事業所20社のうち40％（8社）が前年同時期と比較して「増加した」と回答、25％（5社）が「減少した」と回答した。仕入高は、85％（17社）の事業所が「上昇した」と回答しました。
- 経常利益が「好転した」事業所は20％（4社）に留まり、売上が増加または前年と同程度の水準を維持している事業所でも、それ以上に仕入価格が高騰し、利益率が悪化していることが窺えます。
- 自社の業況が「悪化した」事業所は30％（6社）となっており、物価高騰による薄利化が確実に業績に影響を与え始めていると思われます。
- 設備投資については、今期実施の20％から来期実施予定の30％へ上昇しており、物価高騰や人件費の上昇・人手不足に対応する生産効率向上・省力化に向けた設備投資に乗り出す事業所も見受けられます。
- こうした状況を踏まえ、商工会では各種事業計画の策定/実行を支援するとともに、国・県・町の支援施策を有効に活用し経営課題の解決に努めてまいります。